

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号	105
------	-----

自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現に向け、自ら学び自ら考え、生き生きと豊かに表現できる児童生徒を育成 ・自他を尊重し、学校や地域で生き生きと生活できる児童生徒の育成 ・運動に親しみ、心身ともに健康で、明るく元気な児童生徒の育成
評価する領域・分野 教育活動・学習活動	<p>学習支援（※番号は学校評価のアンケート項目）</p> <p>4：学校は、いろいろな人との交流を大切にし、児童生徒の経験を広めている。</p> <p>15：学校の先生は、児童生徒の実態を的確にとらえ、授業は一人一人に合った教材・教具の準備がされている。</p> <p>16：学校の授業には、体験的な活動が取り入れられ、児童生徒は意欲的に取り組んでいる。</p>
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・4と16に関しては90%以上の方があてはまると回答していただき、学習活動に関してはおおむねできている。 ・15に関しては、わからないという回答が11%もあり、保護者の方への周知が足りなかった。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の発達段階や学習状況を踏まえ、教材の活用や管理、外部専門家との連携、図書室運営の充実、学習意欲や授業効果を高める環境整備を進める。 ・児童生徒一人一人がもてる力を発揮できるように、文化的な取組を計画し実施する。 ・児童生徒の日々の学習の成果や学校生活等を地域の方々へ発信し、理解や協力を広げる。
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・分掌内を「学習活動」と「文化活動」の2係に編成、それぞれの係に職員の特性を活かして小学部、中学部、高等部の職員を配置する。
目標の達成に必要な具体的な取組	<p>学習活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士との連携によって授業や支援方法の改善を進める。 ・図書の貸出と児童生徒の読書意欲を喚起する図書室運営を行う。 ・教材備品（消耗品）の購入や管理、活用に向けて、学習環境の整備を行う。 <p>文化活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の発達段階や学習状況に応じて、もてる力を発揮できる学校祭の運営を行う。 ・作品展を通して地域の方々との交流や理解を広げる。 ・児童生徒が心揺さぶられるような芸術鑑賞会を実施する。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・特別非常勤講師との連携に基づいた授業づくりができたか。 ・活気のある図書室運営ができたか。 ・全児童生徒が力を発揮できる学校祭を実施することができたか。 ・学習の成果を地域の方々にも知ってもらうことができたか。
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・しらゆり相談（理学療法、作業療法、言語聴覚訓練）の実施 ・図書室の運営及び整備（図書委員会の活動） ・緑と水の子ども会議（体験授業）の実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校祭や芸術鑑賞会の実施 ・美術作品展への出品（ふれあい福祉フェア、特文連美術作品展、ふれあい教育展、岐阜市展） ・地域施設での作品展示（大垣共立銀行黒野店、十六銀行黒野店、プラザ掛洞、樽見鉄道本巣駅、西郷郵便局） ・職員研修として、著作権研修の実施
評価の視点	評価
① 特別非常勤講師との連携に基づいた授業づくりができたか。	A (B) C D
② 図書室運営を滞りなく行えたか。	A B (C) D
③ 学校祭や芸術鑑賞会、作品展等を行うことができたか。	A (B) C D
成果・課題	総合評価
<p>○しらゆり相談の講師の方以外に、ダンス講師を招いてダンスの授業を行うことができた。</p> <p>○図書の購入や図書委員会の活動を計画的に行うことができた。</p> <p>○美術作品展に4回、地域施設での作品展示5ヶ所で計8回実施することができた。</p> <p>○学校祭、芸術鑑賞会を全校で行うことができた。</p> <p>▲作品展など保護者、職員に対しての周知が不足していた。</p> <p>▲図書室の蔵書点検等、整備に関することが十分にはできなかった。</p>	A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に付けるキャプションを全校で統一したものを使用するようにする。 ・図書担当者を増員し、計画的に図書室整備を行う。 ・学校祭に関して、PTA 活動、事業所や地域の方々の参加等を検討し、活気ある学校祭を目指す。

学校関係者評価（令和6年2月27日実施）

意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の連携や、しらゆり相談が大変良い。そこで得た支援方法が卒業後も引き継がれるよう。 ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士と連携として、自立活動の展開においてどのようにかかわっていただくかなども考えていくとよい。